

令和6年度 学校図書館活用計画・評価シート

足立区立大谷田小学校 校長 菅原 秀道

1 学校教育目標

- ①よく考える子：自ら考え、自ら学び、チャレンジする子
 ②心豊かな子：あいさつをきちんとし、誰に対してもやさしく思いやりのある子
 ③たくましい子：すすんで体を動かし、心身ともに健康でたくましい子

2 現状の学校図書館の課題

- ① 図書館の割り当て時間が決まっているため、使いたいときに使えないことがある。
 ② 本好きの児童は多いが、読みの深まりや広がりには欠ける。

3 今年度の学校図書館の目標

- ① 児童の読書に対する意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
 ② 多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する能力を伸ばす。
 ③ 様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を養う。
 ④ 学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。

4 今年度の重点取組

- ① 国語科を中心に読書活動を工夫し、様々な分野の本を読むようにさせる。
 ② 学校図書館で学習が円滑にできるよう、図書館資料の整備に努める。
 ③ 時間や場所など様々な環境を工夫し、より利用しやすい図書館づくりをする。

5 教科等における年間指導計画（対象学年は○数字で記載）

教科	内容（学校図書館を活用して取り組む単元等）
国語	①としょかんと なかよし ②アレクサンダーとぜんまいねずみ ③三年とうげ ④ぞろぞろ ⑤新聞を読んでみよう ⑥書評を書いて話し合おう
社会	③工場・畑・お店ではたらく人々のしごと ④さまざまな土地の暮らし ⑤情報社会に生きるわたしたち ⑥にほんのあゆみ
算数	②水とかさのたんい ⑥データを使って生活を見なおそう
理科	③チョウを育てよう ④月と星 ⑤科学者の伝記を読もう ⑥人や動物の体
図工	①おはなしだいすき ③ことばから思いうかべて
保健体育	③体のせいけつとけんこう ⑥病気の予防
家庭科	⑤物を生かして住みやすく ⑥夏をすずしく、さわやかに

実践の評価

- ・計画に基づき重点取組を含めて学校図書館の活用を推進することができた。また、一方では年度途中であってもより良く改善を図る柔軟な対応もできた。
- ・下学年は毎週図書館を利用し読書活動を行った。図書館支援員の支援を得て講話や読み語りも行った。
- ・図書館支援員の協力を得て、全学年の教科等の学習に関連する図書を、当該学年教室前に平積みにして一定期間設置した。日常的に児童が図書を手にして読むことができ、児童にも教員にもとても好評であった。
- ・調べる学習については、タブレット端末を利用することが増えているため、教科領域の中で図書を利活用する機会を意図的に設定して行った。（2学年以上の探究学習）

6 図書館運営計画

(1) 日常的な取り組み

①週に1時間以上の図書館を活用する。 ②読書ボランティアによる読み聞かせ(3週に1回)

(2) 主な行事の取り組み

①大谷田まつり(パネルシアター)

(3) 図書委員会などの取り組み

①学級文庫の点検 ②おすすめ図書の紹介 ③委員会発表(読み聞かせ)
④休み時間に図書の貸出、返却を行う。

(4) 環境整備の取り組み

①請求記号を3桁に統一し、分類の理解を深める。
②電算化更新等に適切に対処できるようにする。

(5) 司書・外部との連携

①展示や掲示を工夫し、図書館の美化に心がける。
②月1回に担当教諭と学校図書館支援員との共通理解を図る機会を確保し、資料の準備をより充実させる。

実践の評価

- ・図書館支援員と図書ボランティアには図書館の環境整備に大きく貢献していただいた。館内は主に支援員、廊下装飾等はボランティアに担当していただいた。
- ・館内においては季節やその時々話題、時事に関連した特設コーナーを設けていただき、児童の興味関心を引き出す工夫がなされた。

7	学校図書館利活用に関する成果目標	達成基準	達成状況
①	図書館のしくみを理解し、様々な分野の本や資料を読むことができる。	年間読書目標 1年生:100冊 2~4年生:2000ページ 5・6年生:3000ページ	・達成率は1年50%、2年30%、3年以上は20%以下。
②	自ら問いをもち、ICTと本、新聞など、複数の情報を活用して学習させる。	ICTと図書を併用した調べ学習を実施した回数:年2回	・図書を用いた探究学習2回以上実施。

8 学校図書館全体に関する自己評価

- ・年度途中であったが、1回の貸出冊数を増やすことで児童の読書活動を推進できた。また、今年度、特に画期的であったが、放課後の学校図書館の開放である。本校児童にとって地域図書館は離れた場所にあるために平日利用することは難しい現状であった。放課後に30~50分程度であるが、開放日にはおよそ1割の児童が利用した。保護者にとっても児童の居場所、学習機会となることからたいへんに好評であった。次年度は、週2回開放から週4回に拡充していく計画である。
- ・学校運営協議会の理解と協力を得て、1~3年の各学級に図鑑を中心とした学級文庫を設けることができた。図書館の図鑑は禁帯出なため、教室で日常的に図鑑を開け、調べられるようになった。さらに次年度以降も4年以上に広げていきたい。